

令和2年度

スポーツ庁委託事業
女性アスリートの育成・支援プロジェクト

女性エリートコーチ育成プログラム

公募要領

令和2年6月

学校法人日本体育大学

はじめに

本公募要領は、令和2年度スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性エリートコーチ育成プログラム」の公募内容や応募に必要な手続き等を記載したものであり、

- I. 公募内容について
- II. 公募対象となるプログラム内容
- III. 応募について
- IV. 選考方法等
- V. 公募スケジュール等

により構成される。

I. 公募内容について

1. プログラムの趣旨

スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第9条に基づく第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日 文部科学省)においては、「国は、女性特有の課題に着目した調査研究や医・科学サポート等の支援プログラム、戦略的な強化プログラムやエリートコーチの育成プログラム等を実施し、得られた知見を中央競技団体等に展開することにより、女性トップアスリートの競技力向上を支援する」ことが謳われ、女性アスリートに対するさらなる支援の充実を図ることが求められている。また、女性アスリートの強化・育成を充実させる視点からも、女性特有の視点や観点をもった女性コーチの普及が重要な側面を担うこととなる。

しかし、現状として女性コーチの普及率が十分であるとは言えない。日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格保有者における女性の割合は29.7%（日本体育協会，2013）に留まり、2016年に行われたリオデジャネイロ・オリンピックに派遣された日本アスリート団の監督・コーチに女性が占める割合は14%（22名）とナショナルチームクラスになるとさらに女性の比率が低い傾向にあり、女性アスリートへの支援充実、そして国際的競技力向上の実現化に向け、解決すべき課題であると言える。

2. 目的

本プログラムでは、各中央競技団体や関係する団体において今後、ナショナルチームクラスで活躍が期待される女性コーチ（将来コーチを目指す現役アスリートを含む）を対象に、ハイパフォーマンス領域で強みとなるコーチングスキル向上のプログラムを提供し、戦略的に女性エリートコーチ育成を目指す。

3. 女性エリートコーチの定義

本プログラムでは、高い競技実績とコーチとしての優れた資質能力を兼ね備え、ナショナルチームクラスのコーチングスタッフとして、リーダーシップを発揮し、女性アスリートや女性コーチのロールモデルとなる者を「女性エリートコーチ」と定義する。

4. プログラムの実施

本プログラムは、「女性アスリートの育成・支援プロジェクト委託要項」並びに「スポーツ庁委託事業事務処理要領」に基づき実施する。

II. 公募対象となるプログラム内容

1. 女性エリートコーチ育成プログラム

各中央競技団体や関係する団体において今後、ナショナルチームクラスで活躍が期待される女性コーチ（将来コーチを目指す現役アスリートを含む）を対象とし、ハイパフォーマンス領域で強みとなるコーチングスキル向上を行うプログラムを策定、実施する。本プログラム内容の方針等は別紙1「女性エリートコーチ育成プログラムの3つの方針」にて記載する。

2. プログラム内容およびスケジュール

本プログラムでは①オンライン研修会および集合研修会、②オン・ザ・ジョブトレーニング(On the Job Training、以下:OJT)、③メンタリング、④海外研修、⑤国際ショーケース・カンファレンス、⑥実践コミュニティ(Community of Practice:CoP)の形成と活用の6項目からプログラムを編成し実施する。令和2年度および令和3年度のプログラムスケジュール案は下記の通りである。なお、各プログラム編成の方針に関する詳細は別紙1「女性エリートコーチ育成プログラムの3つの方針」、実施方法に関する詳細は別紙2「プログラム実施方法」にて記載する。

※ 令和2年度の日程は暫定的なものであり、状況に応じて変更する場合がある。また、令和3年度に関しては事業の予算規模により実施する内容を変更する可能性がある。

令和2年度		令和3年度	
8月下旬～9月上旬	第1回研修会（オンライン）	6月	第5回研修会（集合形式）
9月上旬～10月	OJT&メンタリング①	6月～9月	OJT&メンタリング⑤
10月	第2回研修会（オンライン）	9月	第6回研修会（集合形式）
10月～12月	OJT&メンタリング②	9月～12月	OJT&メンタリング⑥
12月	第3回研修会（集合形式）	12月	第7回研修会（集合形式）
12月～2月	OJT&メンタリング③	12月～2月	OJT&メンタリング⑦
1～3月の間	海外研修	1～2月の間	海外研修
2月	第4回研修会（集合形式）	2月	第8回研修会（集合形式）
2月	国際ショーケースカンファレンス	2月	国際ショーケースカンファレンス
2月～令和3年6月	OJT&メンタリング④		

3. 対象者

本プログラムは、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会のいずれかに加盟する中央競技団体、およびその競技種目の実業団チーム、大学チーム、クラブチーム等に所属し、将来的に女性エリートコーチとして、女性アスリートや女性コーチのロールモデルとして活躍が期待される者（将来コーチを目指す現役アスリートを含む）を対象とする。また対象者は、前述の中央競技団体もしくは所属チームより推薦が得られることを条件とし、推薦する団体を「推薦母体」という。

主な対象者として、以下の条件に見合う者を募る。

- 満20歳以上の女性
- スポーツ医・科学をはじめとする科学的根拠に基づく指導実践を行なって（行おうとして）いる。（専門的知識）
- 対人関係において、常に他者への理解を深める努力をし、良好な人間関係を築く姿勢を有している（対他者の知識）
- コーチとして、自身の課題を客観的に分析、発見するとともに、創意工夫しながら、自己改善に取り組むことができる（対自己の知識）
- プログラム内の海外研修で多くの学びを得るため、また、今後の海外遠征帯同等に備えて自身の語学力向上に努める意欲を有すること
- 国際大会レベルでの競技経験や指導実績を有することが望ましい
- 申請者本人が女性エリートコーチとなる強い意志を有すること
- 原則として事業に関連する全てのプログラムに参加できること
- コーチング実践の場が確保でき、推薦母体からOJTに関する協力が得られること
※ OJTの内容詳細については別紙2「プログラム実施方法」にて記載する

4. プログラム参加に関わる各種支援内容

(1) 活動費支援

本プログラムの対象コーチは、プログラム参加に必要な活動費支援を受けることができる。支援の対象となるプログラムおよび主な支援内容は下記に示した通りである。記載以外の活動費については個別に協議する。

① 活動費支援の内容等

- 令和2年度は対象コーチ1人当たりの年間活動費上限を原則90万円とする。なお、令和2年度については、プログラム開始（令和2年8月7日見込み）から令和3年3月31日までにおいて執行可能な額とする。
- 参加する対象コーチの人数や事業の予算規模の変更により金額は変動する可能性がある。
- OJTとして実施される合宿や遠征帯同について、本プログラムから経費の支援を行うが、支援内容についてはそれぞれのニーズを調査し、本プログラムに必須の項目に対してのみ支援を行う。対象コーチへの学習経験の提供が主たる目的ではなく、推薦母体等の経費削減が目的と判断される場合には本プログラムからの支援は行わない。
- 支給する旅費および宿泊費は日本体育大学の規定に基づき算定する。
- オンライン研修会、集合研修会、海外研修を受講した者には日本体育大学の規定に基づき日当を支払う。
- オンラインによるプログラム参加に係る通信費、通話費は自己負担とする。
- 本プログラム参加期間中に発生する食費は自己負担とする。

【支援の対象となるプログラムおよび主な支援内容】

経済的支援対象プログラム	主な活動費支援内容
集合研修会 (国際ショーケース・カンファレンスを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場までの旅費 ・宿泊費 ・託児所やベビーシッター等利用料金 ・研修会受講日当 (オンライン研修会も該当する)
OJT	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿や遠征帯同費 ・他の同僚対象コーチのOJT現場観察に伴う費用
メンタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・メンターに対する謝金 ・メンタリングに伴う交通費
海外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 ・宿泊費 ・海外研修会受講日当

② 活動費の管理等

各プログラム参加上発生する活動費の支給や管理等は日本体育大学の規定に準じる。

(2) 指導者資格取得の支援

対象コーチは本プログラムを受講することで、日本スポーツ協会公認コーチ3共通科目課程を免除とできるよう申請中である。

5. 実施期間

令和2年8月7日(金)実施予定の「プログラム対象コーチおよび推薦母体説明会」から令和3年度末までを予定する。ただし、令和3年度の参加については令和2年度の実施内容を審査し、予算の状況等を踏まえ、継続することが適当であると認めた場合、2年目の参加を許可するものとする。

6. 採択人数

採択は、12名を予定している。なお、同一の競技種目で複数名を採択するかについては応募状況等から総合的に判断する。

III. 応募について

1. 応募に必要な要件等

- 日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会のいずれかに加盟する中央競技団体、およびその競技種目の実業団チーム、大学チーム、クラブチーム等に所属する者を対象とする。
- 前述の中央競技団体もしくは所属チームより応募に対する推薦が得られることを条件とし、推薦する団体を「推薦母体」とする。なお、推薦母体は申請者のOJTを行う場を提供する団体とする。
- 全ての申請者は応募にあたり、推薦母体と推薦母体以外からの照会可能な推薦者各1名（合計2名）を立てる必要がある。
- 推薦母体の推薦者は申請者のOJTの実行に責任を持てる者とする。
- 推薦母体が中央競技団体でない場合には、もう1名の推薦者は中央競技団体の強化に携わる者が好ましい。
- p.4「II. 公募対象となるプログラム内容、3. 対象者」記載の応募条件に該当する者を対象とする。

2. 応募書類および必要事項

(1) 推薦母体必要事項：1通（推薦母体の推薦者が作成すること）

① 推薦母体に関する基本事項および推薦理由等

- 推薦母体基本事項
- 申請者推薦理由

② 推薦母体の申請者支援体制

(2) 申請者本人必要事項：1通（申請者本人が作成すること）

① 申請者本人に関する基本的事項

② コーチングに対する考え方、現在の取り組みや実践経験について

- 科学的根拠に基づく指導実践（専門的知識）
- 良好な人間関係を築くコミュニケーション実践（対他者の知識）
- コーチとしての自己改善に関する取り組み（対自己の知識）

③ 申請者が本プログラムに参加する目的および目標、コミットメント表明

- 志望動機
- あなたの成長目標
- コミットメント表明

④ 申請者の学習計画

- 学習計画
- 必要な人的支援

(3) 推薦状：1通（推薦母体以外の推薦者が作成すること。推薦母体推薦者の作成は不要とする）

① 申請者推薦理由

② 推薦者必要事項

(4) 本プログラム参加にあたっての誓約書：1通（申請者本人が作成すること）

(5) 申請者本人の競技実績および指導実績を証明する書類：必要数（申請者本人が作成すること）

3. 応募方法

(1) 応募書類の提出場所ならびに問い合わせ先

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

日本体育大学 女性エリートコーチ育成プログラム事業室

TEL : 03-5706-0962

FAX : 03-5706-0961

E-mail : wec@nittai.ac.jp

(2) 応募書類の提出方法

① 応募の申し出

応募を希望する場合、原則として申請者本人が、応募希望の旨を上記E-mailアドレス宛に連絡すること。ただし、同一の団体（中央競技団体、各競技種目の実業団チーム、大学チーム、クラブチーム等）から複数名の申請者を推薦する場合は各団体推薦代表者が応募を取りまとめ、申請者のリストおよびプログラム参加の優先順位を付して上記E-mailアドレス宛に連絡すること。送信者に対して応募書類を電子データ形式で返信する。

② 提出方法

各団体から1名の応募を行う場合

- 応募書類は、申請者本人が一括して応募締切までに電子データ形式としてE-mailにて提出すること。
- 応募書類を提出する際は推薦母体名、申請者本人名で提出すること。

同一団体から複数名の応募を行う場合

- 団体推薦代表者が各申請者の応募書類を取りまとめ、応募締切までに電子データ形式としてE-mailにて提出すること。
- 応募書類を提出する際は推薦母体名、推薦者名で提出すること。

③ 留意点等

- 応募書類は日本語で作成すること。
- 送信メールの題名は「女性エリートコーチ育成プログラム応募」とすること。
- 応募書類の電子データの形式はMicrosoft Office Word（2010で閲覧可能なもの）、もしくはPDFファイル（Adobe Acrobat Reader DCで閲覧可能なもの）形式とする。
- 受信通知は、送信者に対してメールにより返信する。
- メール送信状の事故（未到達）については、当方は一切の責任を負わない。
- 応募書類等の作成および提出費用については、選定結果にかかわらず団体および申請者本人の負担とする。

(3) 応募書類の作成方法

- 「推薦母体必要事項」および「申請者本人必要事項」について、文字数や行数、ページ数を変更することは可能であるが、レイアウトの変更、特に列幅や記載項目の順番の変更、記載項目の枠は削除しないこと。
- 各記載項目の文字数制限やその他記入方法は各応募書類作成要領にて記載する。
- 「申請者本人の競技実績および指導実績を証明する書類」について、申請者本人必要事項にて記載する競技実績および指導実績内容を証明する書類の写し、もしくはリザルトをPDFファイル形式に変換し、応募書類に合わせて提出すること。なお、該当する箇所はマーカー等で強調させること。

4. 誓約書の提出

- (1) 本プログラムへの参加を希望する者は、インテグリティーに関する誓約書を提出しなければならない。
- (2) 前項の誓約書を提出せず、または虚偽の誓約をし、もしくは誓約書に反することとなった場合は、当該者のプログラム参加を無効とするものとする。
- (3) 提出方法
誓約書を自書にて作成し、捺印の上、PDFファイル形式に変換し、応募書類と合わせて提出すること。

5. 応募締切

応募締切：令和2年7月8日(水)18時まで

6. 公募説明会

(1) 第1回

日時：令和2年6月19日(金)10:00～11:00

方法：オンライン (Zoom)

(2) 第2回

日時：令和2年6月26日(金)10:00～11:00

方法：オンライン (Zoom)

(3) 公募説明会の参加

公募説明会への参加を希望する者は、事前に本プログラム事業室にメールにて連絡すること。送信者に対して公募説明会参加用のリンク (URL) を通知する。また、各回の公募説明会内容は録画し、当日参加できなかった者に対しても閲覧可能にする。閲覧を希望する者は本プログラム事業室にメールにて連絡すること。説明会終了後、送信者に対してメールにてリンク (URL) を通知する。

7. 質疑応答

公募に対する質問がある場合には、E-mail (wec@nittai.ac.jp) にて問い合わせること。質問を受け付ける期限は令和2年7月1日(水)までとする。なお、受け付けた質問はQ&Aとして、以下のURL先に随時更新する。

<https://bit.ly/2XuxJGT>

IV. 選考方法等

1. 選考方法

本プログラムでは、選考の公平性・透明性を保つため、本プログラム事業室スタッフおよび外部有識者によって構成される審査委員会において、提出された申請書類等により選考を実施する。選考は以下の手順によって実施する。

- (1) 書類選考
- (2) ヒアリング
- (3) 選考結果の通知

2. 書類選考および評価基準

提出された応募書類をもとに、次の評価基準による5段階評価等を行い、審査委員会の各委員がそれぞれ評価した採点結果の合計を平均したものを申請者の得点とする。

- ① 2年間で実現可能な目的や目標が設定され、必要なコミットメントが得られるかどうか
- ② 本プログラムを受講するにあたって、コーチングに関する事前知識を十分に有しているかどうか
 - ・ スポーツ医・科学をはじめとする科学的根拠に基づく指導実践を行なって（行おうとしている）。（専門的知識）
 - ・ 対人関係において、常に他者への理解を深める努力をし、良好な人間関係を築く姿勢を有している（對他者の知識）
 - ・ コーチとして、自身の課題を客観的に分析、発見するとともに、創意工夫しながら、自己改善に取り組むことができる（対自己の知識）
- ③ 目的と目標に合致したOJTが計画され、推薦母体からOJTの場を確保するための協力が確実に得られるかどうか
- ④ インテグリティ、成長意欲、成長に対する姿勢の各側面で、次に続く可能性のある女性コーチのロールモデルとなることが期待できるか

【評価基準】

評価項目	点数	評価基準				
		劣っている	やや劣っている	適切である	優れている	大変優れている
①	5	1	2	3	4	5
②	5	1	2	3	4	5
③	5	1	2	3	4	5
④	5	1	2	3	4	5

3. ヒアリング

書類審査を通過した申請者およびその推薦母体に対して令和2年7月20日～7月29日（予定）の期間でオンラインによるヒアリングを実施する。ヒアリング日程の詳細は申請者および推薦母体に直接通知し、実施日程を調整することとする。ヒアリング内容は応募書類の記載内容に基づき実施するため、原則として推薦母体の推薦者および申請者本人の両名が参加すること。

4. 採択等

外部有識者を交えた本プログラム審査委員会で審査、評価に基づき、申請者とその推薦母体等に決定通知を送付する。採択にあたっては、エリートコーチ育成という本プログラムの趣旨を鑑み、各中央競技団体が各種ナショナルチームのコーチ候補者として推薦する者を優先することとする。採択後プログラムの内容、実施期間、必要な活動費、申請者本人に対する推薦母体の支援体制等に関し、条件を付すことがある。また、採択後、各対象コーチと個別面談を実施し（8月中旬～下旬予定）、令和2年度内の学習計画や必要な活動費などについて確認および調整を行う。日程の詳細は各対象コーチに直接通知し、実施日程を調整することとする。

5. 選考結果の通知

令和2年8月3日(月)までに全ての申請者、推薦母体の推薦者に対して選考結果を通知する。なお、審査の途中経過等に関する問い合わせは一切受け付けない。

V. 公募スケジュール等

1. 公募開始：令和2年6月8日(月)
2. 第1回公募説明会：令和2年6月19日(金)10:00～11:00
3. 第2回公募説明会：令和2年6月26日(金)10:00～11:00
4. 公募締切：令和2年7月8日(水)18時
5. 書類選考：令和2年7月上旬～中旬頃
6. ヒアリング：令和2年7月20日(月)～7月29日(水)頃
7. 選考結果の通知：令和2年8月3日(月)まで
8. プログラム対象コーチおよび推薦母体説明会：令和2年8月7日(金)